

事務事業名	雲南市ホームページ管理運営事業	所属部	政策企画部	所属課	情報政策課	
総合計画体系	政策名	(I) みんなで築くまち《協働・行政経営》	所属G	情報政策G	課長名	末次 治良
	施策名	(03)市民と行政の情報の共有化	担当者名	錦織 健人	電話番号	0854-40-1015
	目的	対 象 市民 意 図 市政に関する多くの情報を得る。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 1	(内線)	2331
	目的	対 象 市民 意 図 広報媒体により情報を得る。	項目 中事業 中事業名 0 5 1 5 0 3			広報活動事業 ホームページ運営事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
積極的な情報公開を行うため、ホームページの持つ公開性・即時性・蓄積性などの特長を活かし市政情報の提供に努めている。同時に、地域のポータルサイトとして、積極的に地域情報の提供も行う。 市政や地域の活動に関するニュースなどは、情報政策課が作成する。また、各部署において、担当事務・事業の概要のほか、イベント、募集、申請・届出、審議会・研究会の内容などについて、掲載することとしている。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)				
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
	ア	新規コンテンツ登録件数	コンテツ	271	316	380	400
	イ	メールマガジンの発行数	人	550	600	672	700
	ウ						
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
	・市民 ・雲南市の情報を欲する人	ア	人口(人口推計)	人	39,472	39,032	38,506	38,477
		イ	アクセス件数	回	402,129	416,015	387,472	400,000
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)		
・行政の持つ情報を積極的に公開し市の施策への理解、政策提言をしてもらう。 ・雲南市の観光情報や定住施策等を広報し、入込客の拡大やU・Iターン希望者へ情報を提供する。	ア	アクセス件数	回	402,219	416,015	387,472	400,000	
	イ	市政に関する情報がわかりやすく提供されていると感じる割合	%	51.0	52.3	72.9	58.0	
	ウ	市政に関する情報が得やすいと感じる市民の割合	%	53.9	53.1	71.8	58.0	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)	
HP改修委託 5,195千円 HP管理委託 613千円 メールマガジン配信システム使用料 78千円 その他(消耗品、通信料、手数料) 227千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	465	563	215	453
		一般財源	千円	269	171	5,898	965
		事業費計(A)	千円	734	734	6,113	1,418
		正規職員従事人数	人	1	1	4	
	延べ業務時間	時間	560	560	1,078		
	人件費計(B)	千円	2,177	2,192	4,276		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,911	2,926	10,389		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
インターネットの普及率の進捗はめざましく、ユーザー数も年々増加する傾向にある。また技術的な進歩に伴い、SNSや電子掲示板などの機能を有するサイトも登場し、双方向性に富んだコミュニケーションツールとしての役割が高まっている。	・ホームページの改修を行い、より使いやすく情報にたどりつきやすい構成とした。また、アクセシビリティへの対応を強化した。	・子育て世代から、インターネットによる気軽に使える双方向情報発信手段の構築の要望あり

事務事業名	雲南市ホームページ管理運営事業	所属部	政策企画部	所属課	情報政策課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	・閲覧者にとって分かりやすく有益な情報を提供するとともに、アクセシビリティの向上に努める。 ・閲覧者が知りたいと感じる情報が十分に提供されていない。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	必要な情報が伝わらなくなり、市民の生活や市政運営に支障をきたす。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		市報うなん発刊事業、雲南夢ネット運営事業(CATV事業)
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		主な事業費はシステム保守経費であり削減の余地がない。
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		外部委託や正規職員以外の雇用
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		提供されるサービスは、インターネットに接続する環境があれば、誰でも享受することのできるサービスである。
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		市政情報などを公開する上で、ホームページは有効なツールである。日常的に容易に接触できる情報媒体であるため、アクセシビリティの向上、提供情報の充実を図る必要がある。また技術改革に伴い、行政手続きの電子化などの機能の追加が求められることから、ホームページの特性である即効性を確保しつつ、外部委託などコストを抑えた運営の仕方も考える必要がある。
B 有効性		<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性		<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性		<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	●																			
	維持		×																		
	低下	×	×																		
<ul style="list-style-type: none"> 市民の情報ニーズの把握 情報に対する職員の重要性の認識向上及び共有化 		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			